京都市では、各施設の運営がどのようになっているかを
市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

南部クリーンセンター環境学習施設（愛称：さすてな京都）の運営について

当施設は、「京都市環境教育・学習基本指針」に基づく環境教育・学習の中核施設として令和元年に開設しました。

愛称である「さすてな京都」は、「最先端」「素晴らしい」「展望台」「南部クリーンセンター」のそれぞれの頭文字と、「持続可能な」という意味の「サステナブル」を合わせたものです。

＜施設の主な取組＞

○　施設見学

ごみ処理施設に併設するという特色を生かし、大規模な施設を間近で見学でき、焼却処理やエネルギー回収の技術など、最先端の環境技術を学ぶことができます。

○　環境学習プログラム

ごみ減量、地球温暖化、生物多様性、環境面から見た地域の歴史等幅広い分野を対象として、体験型を中心にした子ども向けワークショップや大人向け学習講座などライフステージに応じた様々な環境学習プログラムを用意しています。

＜令和７年度の運営状況＞

○　利用者数　　50,685人

○　運営（委託）費　79,887千円

利用者1人当たりの運営費
1,576円

○　施設の運営費は、家庭ごみの有料指定袋制によって得られた収入によりまかなわれています。

［京都市環境政策局南部クリーンセンター　611-5362］